

平成 30 年度

サービス・データ科学研究センター

活動報告書

2019 年 3 月

Center for Data Science and Service Research
(DSSR)

目次

1. サービス・データ科学研究センターの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 研究協力協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3. 研究集会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4. ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
5. 海外からの訪問者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
6. ディスカッションペーパー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
7. サブプログラム「データ科学スキーム」・・・・・・・・・・・・17
8. 学内、学際重点研究プログラムへの参画・・・・・・・・・・・・18
9. 産学連携（共同研究契約締結）・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

1

サービス・データ科学研究センターの概要

1) 設立：平成 25 年 4 月 1 日

2) 設立目的：

本研究センターは、データ科学と経済経営の理論を融合しながら大規模大量データ解析手法を開発し、社会経済に関する現代的諸問題に適用する研究を行い、その成果を世界に発信することを目的とし発足した。特に、サービス・イノベーションの促進や、マーケティングの革新、経済システムの持続性確保、震災復興促進などを当面の研究課題とし、研究を推進する。

3) 実施事業：

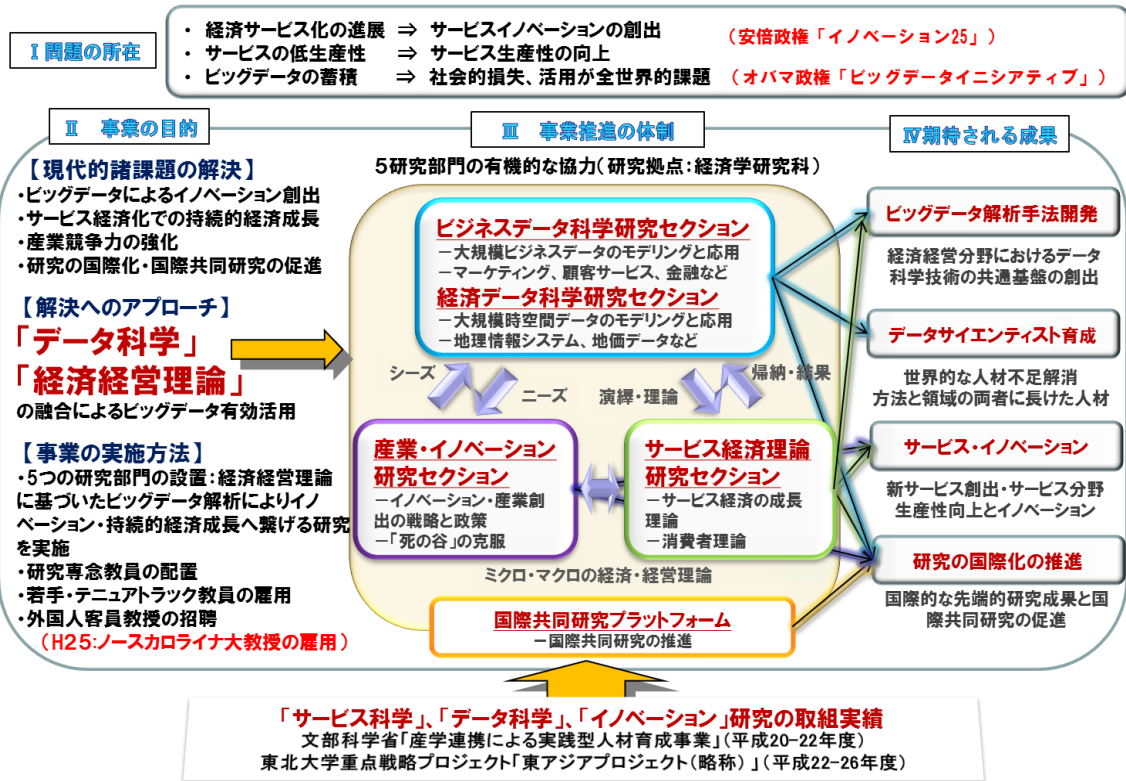
- ① 社会経済に関する現代的諸問題に関する研究
- ② 産学共同研究、委託研究及び寄附講座の受入れ
- ③ 国内外の先端的研究者との共同研究を通じたネットワーク構築
- ④ 先端的研究者を外部講師とする研究会の開催
- ⑤ ディスカッションペーパーの刊行
- ⑥ HP、パンフレットによる広報

4) 研究概要：

- ① 情報技術の進展につれて発生する、大規模大量データ（ビッグデータ）の解析手法を開発し、社会経済に関する現代的諸問題に適用する研究を行う。
- ② 経済経営学の理論的実証的成果とデータ科学の成果を融合させて、現代的諸課題の解決に資する。
- ③ 特に、サービス・イノベーションの促進やマーケティング革新、経済システムの持続性確保、震災復興促進、などを当面の研究課題とする
- ④ 成果を世界に発信し、各国の主導的な研究者と連携して、世界のサービス科学研究およびデータ科学研究をリードする研究拠点の形成を目指す。
- ⑤ 以上の研究を遂行するため、以下の 5 部門を設置する。
 - I. ビジネスデータ科学研究セクション
 - II. 経済データ科学研究セクション
 - III. 産業・イノベーション研究セクション

IV. サービス経済理論研究セクション

V. 国際共同研究プラットフォーム



5) 組織 :

- センター長 : 松田 安昌 教授 (経済データ科学研究セクション)
- 運営委員 : 照井 伸彦 教授 (ビジネスデータ科学研究セクション)
- 柴田 友厚 教授 (産業・イノベーション研究セクション)
- 日引 聡 教授 (サービス経済理論研究セクション)
- 永易 淳 教授 (サービス経済理論研究セクション)
- 石垣 司 准教授 (ビジネスデータ科学研究セクション)
- 植松 良公 講師 (経済データ科学研究セクション)
- 松前 龍宜 講師 (産業・イノベーション研究セクション)

○プロジェクト参加者 :

ビジネスデータ科学研究セクション
Xing Aijing 特任助教(2016.10~2018.9)

国際共同研究プラットフォーム

(専任)

Hongwei Chuang 准教授 (2014.4~2019. 3)

(任期付)

P.M.Robinson 招聘研究員(2015.12, 2018.3)

中林 純客員研究員(2016.4~)

函斎 大招聘研究員(2017.8)

笹沼 克信招聘研究員(2017.1)

Chun-Fang Chiang 招聘研究員(2017.3~2017.8)

Nazmus Sadat Khan 招聘研究員(2017.10)

Jaromir Antoch 招聘研究員 (2017.11)

YoungJin Choi 招聘研究員(2018.7)

Christina Atanasova 招聘研究員(2018.10)

Xu Xia 招聘研究員(2018.12)

Olivier Le Courtois 招聘研究員(2019.1)

Peter Moffatt 招聘研究員(2019.3)

Corrado Di Maria 招聘研究員(2019.39)

中島 賢太郎客員准教授(2017.4~)

三浦良造特任教授 (客員) (2014.4~)

矢島美寛客員教授(2016.4~)

6) 所在・連絡先 :

○所在 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 3 階 308 号室

○電話・FAX : 022-795-6283

○メール : dssr-sec@grp.tohoku.ac.jp

○HP : <http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/datascience/newpage.html>

2

研究協力協定

内外の研究機関と共同研究を推進するため、下記研究機関と研究者の交流を含む研究協力協定を締結した。

○国外 7件

- University of Maryland, Robert H. Smith School of Business, Department of Marketing (2013年6月3日)
- Korea University School of Business, Marketing Research Center (2013年6月11日)
- The Ohio State University Fisher College of Business, Dept. of Marketing & Logistics (2015年9月21日締結)
- College of Business Stony Brook University, The State University of New York (2016年8月18日締結)
- National Chengchi University, Department of Economics 2016年8月29日締結)
- University of Hawaii at Mānoa, Department of Economics, College of Social Sciences (2016年11月7日締結)
- Goethe University, Department of Marketing Faculty of Economics and Business Administration (2017年10月5日締結)

○国内 3件

- 情報・システム研究機構 統計数理研究所・サービス科学研究センター (2012年6月1日)
- 公益財団法人アジア成長研究所(AGI)第三研究グループ (2016年6月1日)
(2016年4月1日、アジア成長研究所の組織再編に伴い、第三研究グループが第二研究グループに改称。)
- aiforce solutions inc. (2019年1月21日)

3

研究集会

(H30 年度実施 1 件、著名招聘研究者 3 名)

① 2019 Tohoku-UEA Joint Workshop

- 日 時：2019 年 3 月 5 日(火)-6 日(水)
- 場 所：東北大学川内経済学研究科棟 4 階 大会議室
- 概 要：Dept. Econ., Univ. East Anglia より 3 名の研究者をまねき、計量分析、環境経済、マーケティングの 3 セッションを設け、東北大学より 9 件の発表と併せて計 12 件の講演からなるワークショップを開催した。
- プログラム：

March 5, 2019

Session1.Econometrics

- 9:30-10:30 Peter Moffatt (UEA):
“Using Supermarket Loyalty Card Data to predict the Differential Impact of the UK Sugar Tax on Buyer Behaviour”
- 10:45-12:15 Midori Wakabayashi (Tohoku U.):
“Commitment Device and Marriage and Undersavings “
Yoshimasa Uematsu (Tohoku U.):
“Estimation of weak factor models”
Yuta Kuroda (Tohoku U.):
“The effect of a partial relaxation of the school-district system on land prices and academic performance: An empirical analysis in Japan”
- 12:15-14:00 Lunch

Session2.Environmental Economics

- 14:00-15:00 Corrado Di Maria (UEA):
“Electoral Incentives and Firm Behavior: Evidence from U.S. Power Plant Pollution Abatement”

15:15-16:45 Akira Hibiki (Tohoku U.):
“Impacts of Indoor and Outdoor Air Pollution on Child Health in Bangladesh”
Gabriel Fuentes (Tohoku U.):
“Long-term Effects of Civil War on Political Beliefs and Preferences: Evidence from Guatemala”

18:00- banquet

March 6, 2019

Session 3. Marketing

9:30-10:30 Michael Kummer (UEA):
“Market Concentration and Privacy in Online Markets - Evidence from the Mobile App Industry”

10:45-12:15 Tsukasa Ishigaki (Tohoku U.):
“Personalized Smart Marketing for a Wide Set of Customers and Products”
Linh Nguyen (Tohoku U.):
“Domain-to-domain Translation Model for Recommender System”
Mirai Igarashi (Tohoku U.):
“A model for community detection considering user-generated-contents and allowing the mixed membership”

4

ワークショップ

(H30 年度実施 38 件、報告者 49 名 (内 学外 38 名))

1) 現代経済学研究会との共催

- 日 時 : 2018 年 4 月 19 日 (木)
- 時 間 : 16:20~18:20
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室
- 報告者 : 東北大学 鈴木 通雄 氏
- 論 題 : "Decomposition of Aggregate Productivity Growth with Unobserved Heterogeneity"
- 報告者 : 東北大学 湯田 道生 氏
- 論 題 : "Medical Assistance System and Outpatient Health Care Utilization: Evidence from Japan"

- 日 時 : 2018 年 4 月 26 日 (木)
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室
- 時 間 : 16:30~18:00
- 報告者 : University of Wisconsin-Madison Ian Coxhead 氏
- 論 題 : " Persistent privilege? Institutional education achievement gaps in Vietnam"

- 日 時 : 2018 年 5 月 11 日 (金)
- 時 間 : 16:20~17:50
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室
- 報告者 : Old Dominion University 八木橋 毅司 氏
- 論 題 : " Intertemporal Elasticity of Substitution with Leisure Margin "

- 日 時 : 2018 年 5 月 17 日 (木)
- 時 間 : 16:20~17:50
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室
- 報告者 : 明治大学 山田 知明 氏
- 論 題 : " The Effects of Monetary Policy Shocks on Inequality in Japan"

○日 時：2018年5月24日（木）
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：早稲田大学 小西 秀樹 氏
○論 題："How Redistributive are the Hidden Welfare States?: Private Social Expenditure and Redistribution in OECD countries"

○日 時：2018年6月7日（木）
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4 第401演習室
○報告者：東北学院大学 白井 大地 氏
○論 題："Debt-Ridden Borrowers and Economic Slowdown"

○日 時：2018年6月21日（木）
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：東京工業大学 島根 哲哉 氏
○論 題："Location Choice of Carsharing Stations: an Empirical Study "

○日 時：2018年6月28日（木）
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：東京大学 松村 敏弘 氏
○論 題："Firms' Costs, Profits, Entries, and Innovation under Optimal Privatization Policy"

○日 時：2018年7月5日（木）
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：上智大学 釜賀 浩平 氏
○論 題："An axiomatization of the mixed utilitarian-maximin social welfare orderings"

○日 時：2018年8月2日（木）
○時 間：16:20～17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：京都大学 高橋 修平氏

○論 題："Does State-Dependent Wage Setting Generate Multiple Equilibria?"

○日 時：2018 年 10 月 18 日 (木)

○時 間：16:20~17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：東京大学 平野 智裕 氏

○論 題："The Wobbly Economy"

○日 時：2018 年 11 月 22 日 (木)

○時 間：16:30~18:00

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 10 階 第 21 演習室

○報告者：大阪経済大学 十河 丈晴 氏

○論 題："Costly Entry and the Optimality of Asymmetric Auction Designs "

○日 時：2019 年 1 月 24 日 (木)

○時 間：16:20~17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス経済学部研究棟 4 階 大会議室

○報告者：University of British Columbia, 一橋大学 笠原 博幸 氏

○論 題："Grain Exports and Causes of China's Great Famine, 1959-1961: County-Level Evidence"

○日 時：2019 年 1 月 31 日 (木)

○時 間：16:50~18:20

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：University of Wisconsin-Madison, 一橋大学 坂本 陽子 氏

○論 題：" Product Life-Cycle and Geography of Innovation"

○日 時：2019 年 2 月 14 日 (木)

○時 間：16:20~17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 10 階 第 21 演習室

○報告者：一橋大学 西出 勝正 氏

○論 題："Default Contagion and Systemic Risk with Cross-Ownership of Equities, Debts, and Financial Derivatives "

○日 時：2019年2月21日(木)
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：東北大学 北川 章臣 氏
○論 題："コーポレート・ガバナンス構造の変化と人的資本投資"

○日 時：2019年3月4日(月)
○時 間：16:20～17:50
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：明星大学 盛本 圭一 氏
○論 題："Tax Evasion and Optimal Corporate Income Tax Rates in a Growing Economy"

○日 時：2019年3月11日(月)
○時 間：15:00～18:00
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：一橋大学 湯淺 史朗 氏
○論 題："Storage Cost and Birth of Rational Bubble"
○報告者：一橋大学 陣内 了 氏
○論 題："Recurrent Bubbles and Economic Growth"

○日 時：2018年3月28日(木)
○時 間：15:00～18:00
○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟4階 第401演習室
○報告者：東京大学 若森 直樹 氏
○論 題："Excess Capacity and Effectiveness of Policy Interventions: Evidence from the Cement Industry"
○報告者：大阪大学 石瀬 寛和 氏
○論 題："Nominal Exchange Rate Variability, Nominal Wage Rigidity, and the Pattern of Trade"

2) 「数理・統計科学に基づくサービス科学研究プロジェクト」研究会
(応用統計計量ワークショップ) との共催

○日 時：2018年7月19日(木)

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○時 間：16:20～17:50

○報告者：Temple university YoungJin Choi 氏

○論 題："U.S. Quantitative easing and exchange rate regime"

○日 時：2018 年 7 月 26 日 (木)

○時 間：16:20～17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：アジア経済研究所 會田 剛史 氏

○論 題："Spatial vs. Social Network Effects in Risk Sharing"

○日 時：2018 年 10 月 4 日 (木)

○時 間：16:20～17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：University of Southern California, 東北大学 植松 良公 氏

○論 題："The SOFAR Framework and Estimating Weak Factor Models "

○日 時：2018 年 10 月 25 日 (木)

○時 間：16:20～17:50

○場 所：東北大学川内キャンパス経済学研究棟 4 階 大会議室

○報告者：Simon Fraser University Christina Atanasova 氏

○論 題："Firm Diversification Affects Liquidity Management: The Role of Lines of Credit"

○日 時：2019 年 1 月 17 日 (木)

○時 間：14:40～16:10

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：大阪大学 大西 匡光 氏

○論 題："一般化された価格インパクト・モデルのもとでの最適・均衡執行戦"

○日 時：2019 年 2 月 4 日 (月)

○時 間：14:40～16:10

○場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室

○報告者：一橋大学 高見澤 秀幸 氏

○論 題："An Equilibrium Model of Term Structures of Bonds and Equities "

3) サービス・データ科学研究センターワークショップ

第1回 DSSR セミナー

- 日 時：2018年6月5日（火）
- 場 所：東北大学川内キャンパス経済学研究棟4階 大会議室
- 時 間：15:00～18:00
- 報告者：東北大学 松田 安昌 氏
- 論 題：“パネルデータ分析について”
- 報告者：東京大学 伊藤 翼 氏
- 論 題：“多変量小地域推定問題について”

第2回 DSSR セミナー

- 日 時：2018年7月5日（木）
- 場 所：東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟10階 第21演習室
- 時 間：14:40～16:10
- 報告者：統計数理研究所 村上 大輔 氏
- 論 題：“Low rank spatial econometric models”

4) Data Science Workshop

- 日 時：2018年10月4日（木）
- 場 所：東北大学川内キャンパス経済学研究棟1階 第1演習室
- 時 間：14:40～18:00
- 報告者：東北大学 松田 安昌 氏
- 論 題：“Spatial modeling of volatility matrices for high-dimensional financial time series”

- 日 時：2018年10月18日（木）
- 場 所：東北大学川内キャンパス経済学研究棟1階 第1演習室
- 時 間：14:40～18:00
- 報告者：統計数理研究所 Jiangcang Zhuang 氏
- 論 題：“Hawkes models in social and natural sciences: estimation, diagnostics, and extensions”

- 日 時：2018年10月25日（木）
- 場 所：東北大学川内キャンパス経済学研究棟1階 第1演習室
- 時 間：14:40～18:00
- 報告者：東北大学 Gabriel Fuentes Cordoba 氏

○論 題 : "Does the Recognition of Indigenous Territories Impact Household Economic Situations? Evidence from Western Panama"

○報告者 : 東北大学 黒田 雄太 氏

○論 題 : " Does disclosure of school quality information increase the disparity in academic achievement? The effect through the housing market"

○日 時 : 2018 年 11 月 1 日 (木)

○場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 1 階 第 1 演習室

○時 間 : 14:40~17:50

○報告者 : 広島経済大学 田中 章太郎 氏

○論 題 : "Tangible Utilization of Remote Sensing Data in Socio-Economic Sciences"

○報告者 : 統計数理研究所 斎藤 正也 氏

○論 題 : "国内風疹に対するワクチン接種政策への数理モデルの応用"

○日 時 : 2018 年 11 月 22 日 (木)

○場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 1 階 第 1 演習室

○時 間 : 14:40~16:10

○報告者 : 東北大学 Navruzbek Karamatov 氏

○論 題 : "Jensen's Alpha measured under skew-symmetry model for error term distribution"

○日 時 : 2018 年 11 月 29 日 (木)

○場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 1 階 第 1 演習室

○時 間 : 14:40~16:50

○報告者 : 東北大学 李 銀星 氏

○論 題 : "ソーシャルメディアの新製品普及アクセレーション効果"

○報告者 : 東北大学 佐藤 宇樹 氏

○論 題 : "Spatial and temporal modeling of heteroscedastic volatility behaviors in social science"

○日 時 : 2018 年 12 月 13 日 (木)

○場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 1 階 第 1 演習室

○時 間 : 14:40~17:00

○報告者 : EMLyon Xu Xia 氏

- 論 題 : "Portfolio Optimization for Extreme Risk: A Pareto-Dirichlet Approach "
- 報告者 : 国立政治大学 荒井 夏來 氏
- 論 題 : "Investigating the Inefficiency of the CBO's Budgetary Projections"

- 日 時 : 2018 年 12 月 20 日 (木)
- 時 間 : 14:40~17:00
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 1 階 第 1 演習室
- 報告者 : Singapore Management University Zhenlin Yang 氏
- 論 題 : "Specification Tests for Temporal Heterogeneity in Spatial Panel Data Models with Fixed Effects"
- 報告者 : 東京大学 菅澤 翔之助 氏
- 論 題 : "Spatial Estimation and Inference for Area-wise Income Distributions"

- 日 時 : 2019 年 1 月 17 日 (木)
- 時 間 : 14:40~17:00
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 1 階 第 1 演習室
- 報告者 : EMLyon Olivier Le Courtois 氏
- 論 題 : "Intensity of Preferences in the Presence of Bivariate Risks"
- 報告者 : RIETI 小西 葉子 氏
- 論 題 : "Comparison of inbound and domestic tourist flow in Japan: Zipf's law and Gibrat's law"

- 日 時 : 2019 年 2 月 12 日 (木)
- 時 間 : 14:40~17:00
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 4 階 第 401 演習室
- 報告者 : 青山学院大学 Olivier Le Courtois 氏
- 論 題 : "Intensity of Preferences in the Presence of Bivariate Risks"

- 日 時 : 2019 年 3 月 1 日 (金)
- 時 間 : 14:40~17:00
- 場 所 : 東北大学川内キャンパス経済学研究棟 4 階 大会議室
- 報告者 : University of Strathclyde Gary Koop 氏
- 論 題 : "Variational Bayesian Inference in Large Vector Autoregressions with Hierarchical Shrinkage"

○報告者：University of California, Irvine Dale Poirier 氏

○論 題： "Mostly Harmless Bayesian Econometrics"

これらワークショップは公開とし、毎回多数の研究科内外の教員や大学院生の出席があり、海外を含む研究機関との連携の拡大、産学協同、大学院生の教育などに大きな成果が得られた。

5

海外からの研究訪問者

1. Ian Coxhead 氏 (University of Wisconsin - Madison)
2018年4月26日～2018年4月27日
2. YoungJin Choi 氏 (Temple University)
2018年7月16日～2018年7月21日
3. Christina Atanasova 氏 (Simon Fraser University)
2018年10月21日～2018年10月27日
4. Xu Xia 氏 (EMLyon Business School)
2018年12月10日～2018年12月16日
5. Yang Zhenlin 氏 (Singapore Management University)
2018年12月19日～2018年12月21日
6. Olivier Le Courtois 氏 (EMLyon Business School)
2019年1月13日～2019年1月19日
7. Dale Poirier 氏 (University of California, Irvine)
2019年3月1日～2019年3月3日
8. Gary Koop 氏 (University of Strathclyde)
2019年3月1日～2019年3月8日
9. Peter Moffatt 氏 (University of East Anglia)
2019年3月3日～2019年3月8日
10. Corrado Di Maria 氏 (University of East Anglia)
2019年3月3日～2019年3月8日
11. Michael Kummer 氏 (University of East Anglia)
2019年3月3日～2019年3月6日

6

ディスカッションペーパー

DSSR の活動による研究論文は、本センターのディスカッションペーパーとして、ホームページ <http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/datascience/newpage7.html> に公開されている。

(H30 年度登録 16 件)

【英文】

No.80	Ron Sanchez and Tomoatsu Shibata	"Modularity Design Rules for Architecture Development: Theory, Implementation, and Evidence from Development of the Renault-Nissan Alliance "Common Module Family" Architecture"
No.81	Junyue Wu and Yasumasa Matsuda	"Prefecture-Level Spatio-temporal Analysis of Foreign Labour in Japan "
No.82	Takaki Sato and Yasumasa Matsuda	"Spatiotemporal ARCH Models "
No.83	Tomoatsu Shibata, Yasunori Baba and Jun Suzuki	"Managing Exploration Processes for New Business -The Successes and Failures of Fujifilm and Kodak- "
No.84	Tomoatsu Shibata	"Managing new product development process and project leaders for modular architecture development: Framework of two- stage NPD process and module leaders "
No.85	Yoshihiro Yajima Yasumasa Matsuda	" Log periodogram regression of two-dimensional intrinsic stationary random fields"
No.86	Takeru Sugawara	" The accessibility to the nearest urban metropolitan area and rural poverty in Japan"
No.87	Nazmus Sadat Khan Jun Nagayasu	" Productivity Spillovers in the Global Market "
No.88	Koji Murayamaya Jun Nagayasu	" Spatial Dependence and Social Networks in Regional Labor Migration "
No.89	Jun Nagayasu	"Homeownership and Residential Mobility during the “Lost Decades” "
No.90	Yuta Kuroda	" Does disclosure of school quality information increase disparity in academic achievement?"

		The effect through the housing market "
No.91	Yuta Kuroda	The effect of a partial relaxation of the school-district system on land prices and academic performance: An empirical analysis in Japan
No.92	Fan Y., Jinchi Lv, Sharifvaghefi M. and Uematsu Y.	IPAD: Stable Interpretable Forecasting with Knockoffs Inference
No.93	Takeru Sugasawa	Impacts of constructing flood control dams on industrial investments in downstream regions in the case of Shiga Prefecture
No.94	Takeru Sugasawa	Accessibility to the nearest urban metropolitan area and rural poverty in Japan
No.95	Masamitsu Kurata, Kazushi Takahashi and Akira Hibiki	Gendered Impacts of Household and Ambient Air Pollution on Child Health: Evidence from Household and Satellite-based Data in Bangladesh

7

サブプログラム「データ科学スキーム」

平成 29 年度 10 月から、情報科学研究科の国費留学生優先配置プログラム「データ科学プログラム II (DSPII)」および国際共同大学院「データ科学」と連携し、サブプログラム「データ科学スキーム (Data Science Scheme)」を開始して、人材育成の体制の整備も図っている。30 年度では修士 5 名、博士 3 名のスキーム参加者があり、「データ科学特別演習」を通して基本統計学の素養と英語によるプレゼンテーションの鍛錬、DSPII 科目の履修指導を行い、データサイエンス教育を充実させている。

8

学内、学際重点研究プログラムへの参画

平成28年度より、東北大・学際重点研究プログラム「ヨタスケールデータの科学技術」へ参画した。情報の「質」と「量」を考える新しい学際領域の研究に取り組んで、巨大情報から社会に大きな価値をもたらすことを目指し、この知識集約の実現のため、集中研方式により工学的技術体系と文系的知識体系を融合して、創発効果を生み出す未来の情報科学技術の母胎となるプラットフォームを作ることに協力している。

- シンポジウム” Symposium of Yotta Informatics Research Platform for Yotta-Scale Data Science 2019”
日時：平成31年3月20日（水）10:30-18:30
場所：電気通信研究所本館601

9

産学連携

1) 平成 29 年 3 月 30 日、株式会社ブリヂストンとの共同研究契約を締結。新しいビッグデータ分析システムによるタイヤ情報活用サービス開発を目的とする。

共同研究先 株式会社ブリヂストン

研究題目 「データ科学アプローチによるタイヤ情報活用サービスの創出に関する研究」

研究期間 2016 年 11 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日、2018 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日、2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日

共同研究経費 132 万円（間接経費込）

2) 平成 31 年 1 月 21 日、aiforce solutions Inc. と共同研究協定を締結。

平成 31 年 3 月 31 日